

令和4年度 第3回手取川・梯川水系流域治水協議会

議 事 概 要

1 日時：令和 5年 3月 29日（水） 11:00～12:00

2 場所：各機関よりWEB会議での開催

3 出席者：別紙「出席者一覧名簿」のとおり

4 議題

(1) 手取川・梯川水系流域治水プロジェクトについて

○流域治水プロジェクトの更新について

○各機関の取組状況について

○グリーンインフラについて

(2) 多段階浸水想定図・水害リスクマップの公表について

(3) その他

5 議事概要

(1) 手取川・梯川水系流域治水プロジェクトについて

○流域治水プロジェクトの更新について

流域治水プロジェクトの更新について【資料1-1】【資料1-2】を用いて事務局より説明した。

流域治水プロジェクトの更新について、構成員から意見、質問はありませんでした。

○各機関の取組状況について

各機関の代表的な取組について説明。（各機関担当者）

<金沢河川国道事務所>

※【資料1-3】【資料1-4】【資料1-5】の説明

<石川県 河川課>

※資料の説明

<石川県 砂防課>

※資料の説明

<石川県 森林管理課>

※資料の説明

<石川県 農業基盤課>

※資料の説明

<林野庁 近畿中国森林管理局>

※資料の説明

<森林研究整備機構 金沢水源林整備事務所>

※資料の説明

<金沢市>

※資料の説明

<小松市>

※資料の説明

<白山市>

※資料の説明

<能美市>

※資料の説明

<野々市市>

※資料の説明

<川北町>

※資料の説明

<金沢地方气象台>

※資料の説明

各機関の説明内容について、構成員から意見、質問はありませんでした。

○グリーンインフラについて

グリーンインフラについて【資料1-6】を用いて事務局より説明した。

グリーンインフラについて、構成員から意見、質問はありませんでした。

(2) 多段階浸水想定図・水害リスクマップの公表について

多段階浸水想定図・水害リスクマップの公表について、【資料2】を用いて事務局より説明した。

多段階浸水想定図・水害リスクマップの公表について、構成員から意見、質問はありませんでした。

○流域治水に対する思い・意見

<小松市長>

- ・主に内水浸水被害軽減のためのハード対策を前倒して進めるとともに、浸水想定区域図作成や新たな防災アプリの運用開始などソフト対策についても取り組む予定である。
- ・気候変動により激甚化する大雨に備え、あらゆる流域治水の取組について具体的な目標を設定し、早期に効果が発現するものから実践していくことにより、被害軽減につながるものとする。内水被害軽減の取組みとして、目標とする計画降雨の設定、効果的な対策を流域治水の考え方を取り入れ具体化して行く予定である。今後、外水・内水一体となった取組みの実施について、各機関の役割分担など引き続き本協議会において検討いただきたい。

<能美市長>

- ・調整池などの雨水貯留施設の整備といったハード対策から、監視・管理体制の強化、webを活用した迅速な災害対応およびマイタイムラインの普及やハザードマップの見直しなどのソフト対策まで着実に進めていきたい。

<野々市市長>

- ・田んぼダムや雨水貯留・浸透施設など市民に対して、支援をしながら進めていきたい。
- ・あらゆる関係者が協働して行う流域治水の観点からいうと、例えば田んぼダムへの支援として活用されている多面的機能支払交付金は農振農用地に限定されるものであるが、市街化区域の農地でも適用できる制度を整備するなど、省庁横断的に連携して取り組んでいただきたい。

<川北町長（代理：土木課長）>

- ・今後は河道内の樹木伐採や浚渫といった事業を国土交通省で行っていただき、減災・防災につなげていただきたい。

(3) その他

○特定都市河川について

特定都市河川について【資料3】を用いて事務局より説明した。

特定都市河川について、構成員から意見、質問はありませんでした。

以上で議事は完了となります。

